

社会文化学会 夏季研究集会 追加募集のお知らせ

韓国の〈いま〉を知る旅

昨年、毎週土曜日にソウルの光化門広場で行われた「ロウソクデモ」は、「このままではいけない。社会を変えていこう」という一般市民の気迫が原動力になっていました。市民が誕生させた「ロウソク政府—文在寅政権」が発足後1年を迎えました。この間の文政権の取り組みや4月に実現した南北首脳会談は、国民からも熱い支持を受け、世界中に強烈なインパクトを与えました。

では、いったいどうしてそれが可能だったのでしょうか？ 今回のツアーでは、さまざまな側面から韓国社会の〈いま〉を知るべく、ホットな現場を訪問し、キーパーソンたちからお話を伺います。多くの方とこの経験を共有したいと思います。お誘いあわせのうえお申し込みください。

■ 日程：2018年8月20日（月）～23日（木）※現地集合・現地解散

■ **申し込み締め切り：2018年8月9日（木）23:59**

※定員に達し次第締め切ります。

■ 訪問先（案）

1. 「ムン・ジェイン政権、国民参加改憲のプロセス」ハ・スンス（弁護士、選挙を変えよう 比例民主主義連帯共同代表、ムン・ジェイン政権での改憲草案作成チームの取りまとめ役）
 2. 「フェミニストが社会を変える！」女性運動連合 事務所長 パク・チャ・オクキョン
 3. ソンミサン・マウル
 4. 社会を変えるツーリズム「フェア・ツーリズム体験」
冠岳区「民主主義の道コース」住民解説士の案内によるまち歩き
 5. 「区民こそが宝：住民と行政のパートナーシップのつくりかた」
前ソウル市協治諮問官 ユ・チャンボク
 6. 「市民参加の公園づくり：パク・チョン時代の石油備蓄基地から未来をつくる文化集積の公園づくり」
文化備蓄地（ソウル市の公園）
 7. 「市民参加のソーシャルイノベーション」
ソウル市イノベーションパーク
 8. 「社会革新」の進め方
前衿川区トクサン4洞住民センター洞長・行政安全部（日本の総務省に該当）社会革新推進団課長 ファン・ソギョン
 9. 「ムン・ジェイン政権、韓国の市民運動の課題」
キム・イッカ（明知大教授、記録管理学）
 10. ソウル市マウル芸術創造所現場訪問（マウルは韓国語で「まち、村」の意味）
- ※訪問先は現地の予定によって変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ 旅行代金（案）

80,000円 ※現地集合・現地解散

旅行代金に含まれるもの

- ・宿泊料金（3泊2名様1室利用）
- ・コーディネート、文書作成（翻訳）、通訳・案内
- ・見学費
- ・訪問先への謝礼・お礼の品

旅行代金に含まれないもの

- ・日本から韓国までの往復航空券代金、燃油特別付加運賃、空港使用料等
- ・食事代（現地で徴収します）
- ・韓国での交通費
- ・海外旅行保険料

※旅行代金は参加人数によって変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■募集予定人数：最大 15 名

■申し込み先：熊本理抄（kumamoto@kindai.ac.jp）までメールにてお申し込みください。